

平成30年度 上下水道部の「実行宣言」

作成者 (評価者)	上下水道事業管理者	佐藤 誠
--------------	-----------	------

基本方針と使命	
<p>上下水道部は、市民生活に欠かすことのできない水道水の安定供給、また快適な住環境の維持・改善のため下水道の整備に取り組みます。</p> <p>水道事業においては、水道管路や施設等の老朽化に対応するために計画的な更新工事の実施と危惧される震災に備えた耐震化工事の実施に努めるとともに、経営基盤の強化に努めます。</p> <p>下水道事業においては、適正かつ効率的な公共下水道の整備に努めるとともに、市街地の浸水被害の解消に向けた事業の実施に努めます。</p>	

『松阪市総合計画』 との関わり	5 安全・安心な生活（防犯・防災）
	6 快適な生活（生活基盤の整備）

平成29年度の評価			
評価基準…A（90%以上）、B（70～89%）、C（50～69%）、D（30～49%）、E（29%以下）			
宣言①	「床上浸水ゼロ」をめざす事業計画の策定に努めます。	評価	C
<p>【主な理由】</p> <p>愛宕川・名古須川流域の浸水対策シミュレーションによる浸水被害の軽減に向けた対策の検討、また松阪地区浸水対策検討会での協議に日数を費やし、大筋での対応策は合意を得ることはできましたが、具体的な計画策定には至りませんでした。今後も引き続き、詳細な事業実施に向けた検討や実施スケジュールの調整、また県と市の費用負担等の整理に努めます。</p>			
宣言②	公共下水道（汚水処理）の効率的な普及促進と計画区域の見直しに努めます。	評価	C
<p>【主な理由】</p> <p>公共下水道の計画区域の見直しについては、既存の計画の見直しとなることから、従前からの市民の意向を十分に整理する必要があると考え、見直しの対象とする地域の意向確認に時間を要したために、年度内の計画見直しには至りませんでした。引き続き、市民の意向確認また経営上の検討を行い都市計画マスタープランへの反映をめざします。</p>			
宣言③	経営の安定化を図るため、料金収納率の向上と料金徴収形態の改定に努めます。	評価	B
<p>【主な理由】</p> <p>収納率の向上については、前年度と比較してほぼ横ばいの状況であり、引き続き、滞納整理や債権回収に努めます。また、料金徴収等の隔月検針・請求については、平成30年10月の実施に向けて条例改正や市民への周知などほぼ計画通りに進められました。</p>			

【部局長シート】

部局マネジメント方針				
事業の進捗状況の確認と課題の共有と課題解決の検討会議として管理職での定例会の開催			評価	B
職員のプレゼンテーション能力の向上を目的に工事担当職員による工事設計プレゼンの実施			評価	B
上下水道事業の積極的な情報発信（見える化）			評価	B
災害に備えたクライシスマネジメントの確認と訓練			評価	C
ワーク・ライフ・バランスを意識した職場環境の構築			評価	A
無事故・無違反を目標に「無事故・無違反チャレンジ2017」の実施			評価	B
『松阪市総合計画』関係施策の進捗度				
①	施策名	浸水対策の充実	目標（H31）	評価
	活動指標	雨水排水施設（宮町・沖ス・大口ポンプ場）事業進捗率	60.0%	A
②	施策名	上下水道の整備	目標（H31）	評価
	活動指標	基幹管路の耐震適合率	37.00%	A
	活動指標	下水道普及率	58.00%	A
	活動指標	水洗化率	80.00%	D
	活動指標	上水道の整備に対する市民満足度	3.6 / 5	B



平成30年度 上下水道部の「実行宣言」	
宣言①	床上浸水ゼロ（名古須川流域）の事業計画の確定に努めます。
宣言②	公共下水道（汚水）の普及促進と計画区域見直しに努めます。
宣言③	基幹管路の耐震化と老朽管路の更新に努めます。
宣言④	上下水道事業の安定経営と料金収納率の確保に努めます。
部局マネジメント方針	
災害に備えたマニュアルの周知と訓練	
事業の進捗管理と課題解決に向けた所属長会議の開催	
安定経営をめざした水道事業基本計画の策定（平成30～31年度）	
工事担当者による設計プレゼンテーションの実施（部内の決裁権者対象）	
ワークライフバランスを意識した職場環境の継続	

【課長シート】

組織名	上下水道部	作成者（評価者）	上下水道事業管理者 佐藤 誠
関係する 「実行宣言」	平成29年度	「床上浸水ゼロ」をめざす事業計画の策定に努めます。	
		公共下水道（汚水処理）の効率的な普及促進と計画区域の見直しに努めます。	
		経営の安定化を図るため、料金収納率の向上と料金徴収形態の改定に努めます。	
	平成30年度	床上浸水ゼロ（名古屋川流域）の事業計画の確定に努めます。	
		公共下水道（汚水）の普及促進と計画区域の見直しに努めます。	
		基幹管路の耐震化と老朽管の更新に努めます。	
上下水道事業の安定経営と料金収納率の確保に努めます。			
関係する『総合計画』施策	5－⑥ 浸水対策の充実		
	6－⑦ 上下水道の整備		
課の基本方針と使命			
<p>上下水道部は、市民生活に欠かすことのできない水道水の安定供給、また快適な住環境の維持・改善のため下水道の整備に取り組みます。</p> <p>水道事業においては、水道管路や施設等の老朽化に対応するために計画的な更新工事の実施と危惧される震災に備えた耐震化工事に努めるとともに経営基盤の強化に努めます。</p> <p>下水道事業においては、適正かつ効率的な公共下水道の整備に努めるとともに、市街地の浸水被害の解消に向けた事業の実施に努めます。</p>			

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝見簡易水道組合との協議においては、目標の2回の協議を持ち一般会計からの繰出金を平成30年度から皆減とすることに合意を得ました。引き続き水道事業への統合に向け協議を行います。 ・平成30年10月からの隔月検針、隔月請求の実施に向けて、条例の改正また次期営業関連業務委託の受託業者の選定を行いました。 ・都市下水路管理運営事業費及び整備事業費については、管理の不具合からのトラブルもなく目標達成となりました。またポンプ場の長寿命化事業、ポンプ場築造事業についても、宮町ポンプ場の更新及び大口ポンプ場の増設に関して目標達成となりました。 ・水道管路及び施設の新設、更新等に係る事業においては、目標とした整備を実施することができました。
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床上浸水ゼロをめざす事業計画の策定において、名古屋川流域については、松阪市浸水対策検討会での協議の結果、県管理の本川の局部拡幅と既設断面の改修により、浸水解消の対策が大筋で合意を得られましたが、実施に当たっては、今後更に詳細な検討またスケジュール・費用負担の協議が引き続き必要となることから、計画の策定までには至りませんでした。また、愛宕川流域については、公共下水道（雨水）の整備により浸水解消が可能となることから、今後年次計画を立てて事業の進捗を図るものとします。 ・公共下水道の区域の見直しについては、関係自治会等の意向も把握することが必要と判断し、関係者への下水道事業の説明や意向調査に時間を要したため、年度内の見直しには至りませんでした。引き続き、見直し案の作成に努めます。

【課長シート】

- ・平成29年度の公共下水道の整備面積は、30.4haの整備を行い目標とする整備を終えることができましたが、普及率（人口普及率）については、前年比1.1%の増に留まりました。
- ・水洗化促進として、水洗化啓発や水洗化補助金等の制度の活用により、水洗化の向上に努めましたが、目標とする前年度比1.0%の増には至らず、0.8%の増に留まりました。

上下水道部 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
1	水道事業会計繰出金	一般	6-⑦	122,463	/	①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。		→ 現状維持	114,440	/	①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						①110% ②100%	①107.2% ②103.0%				A	①110% ②100%			
2	簡易水道事業特別会計繰出金	一般	6-⑦	1,376	/	朝見簡易水道組合との繰出金の減額、上水道統合に関する協議の回数		— 終了	0	/	-		— 終了		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						2回	2回				A	-		-	-
3	都市下水路管理運営事業費	一般	5-⑥	126,962	/	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場及び都市下水路等の維持管理		→ 現状維持	130,904	/	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場及び都市下水路等の維持管理		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						発生ゼロ	発生ゼロ				A	発生ゼロ			
4	都市下水路施設整備事業費	一般	5-⑥	26,681	/	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理		→ 現状維持	15,550	/	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						発生ゼロ	発生ゼロ				A	発生ゼロ			
5	ポンプ場施設長寿命化事業費	一般	5-⑥	22,574	/	ポンプ整備基数		→ 現状維持	252,150	/	宮町ポンプ場No.2ポンプ製作(進捗率)		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						1基	1基				A	30%			
6	公共下水道事業会計繰出金	一般	6-⑦	2,860,307	/	①雨水対策（床上浸水ゼロ）事業計画の策定 ②普及率（平成28年度実績比） ※上段（普及率）下段（年度内整備面積）		→ 現状維持	2,935,404	/	①雨水対策（床上浸水ゼロ）事業計画（名古屋川）の策定 ②下水道普及率 ③汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						①今年度中 ②1.4%増 (55.1%) (28.4ha)	①継続中 ②1.1%増 (54.8%) (30.8ha)				C	①今年度中 ②56.6% ③79.5ha			

上下水道部 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度					平成30年度						
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
7	高須町公園多目的広場施設管理事業費	一般	6-⑦	2,500	/	施設の年間利用者数			→ 現状維持	2,500	/	施設の年間利用者数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1,500人	1,362人	A				1,500人			
8	高須町公園多目的広場施設整備事業費	一般	6-⑦	2,600	/	施設の年間利用者数			→ 現状維持	2,600	/	施設の年間利用者数			— 終了
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1,500人	1,362人	A				1,500人			
9	朝見簡易水道管理事業費	特別	6-⑦	5,072	/	朝見簡易水道組合との繰出金の減額、上水道統合に関する協議の回数			→ 現状維持	5,381	/	朝見簡易水道組合との上水道統合に関する協議の回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2回	2回	A				2回			
10	ポンプ場築造事業費	企業	5-⑥	163,340	/	大口ポンプ場のポンプ増設			→ 現状維持	70,000	/	沖スポンプ場増設詳細設計			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2基	2基	A				1箇所			
11	管路新設事業	企業	6-⑦	83,600	/	基幹管路の整備延長			→ 現状維持	88,000	/	配水支管の整備延長			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						200m	189m	A				1,000m			
12	老朽施設更新事業	企業	6-⑦	68,000	/	新久保山ポンプ場受電設備の更新			→ 現状維持	11,000	/	第二水源発電機始動盤の更新			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						7面	7面	A				1面			
13	老朽管更新事業	企業	6-⑦	1,028,320	/	基幹管路の整備延長			↗ 拡大	1,113,200	/	基幹管路の整備延長			↗ 拡大
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						500m	584m	A				1,160m			
14	その他水道事業会計全事業費	企業	6-⑦	3,533,291	/	①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。			→ 現状維持	3,521,985	/	①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						①110% ②100%	①107.2% ②103.0%	A				①110% ②100%			

上下水道部 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成29年度				平成30年度							
				予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標			方針	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標			方針
15	関連公共下水道事業（松阪）	企業	6-⑦	2,023,476	/	汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			→ 現状維持	2,598,682	/	汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						28.4ha	30.8ha	A				79.5ha			
16	関連公共下水道事業（嬉野）	企業	6-⑦	15,000	/	汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			→ 現状維持	15,000	/	汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						28.4ha	30.8ha	A				79.5ha			
17	中勢沿岸流域下水道事業 松阪処理区（負担金）	企業	6-⑦	95,284	/	汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			→ 現状維持	106,253	/	汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						28.4ha	30.8ha	A				79.5ha			
18	関連公共下水道事業（三雲）	企業	6-⑦	188,000	/	汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			→ 現状維持	272,000	/	汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						28.4ha	30.8ha	A				79.5ha			
19	水洗化促進事業	企業	6-⑦	17,222	/	水洗化率（平成28年度実績比）			→ 現状維持	17,494	/	水洗化率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1.0%増 (78.4%)	0.6%増 (78.0%)	D				79.1%			
20	その他公共下水道事業会 計全事業費	企業	6-⑦	944,797	/	汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			→ 現状維持	1,020,790	/	汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲）			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						28.4ha	30.8ha	A				79.5ha			